

令和 6 年度 高齢者地域貢献活動 知事表彰団体一覧

4 部門 6 団体

表彰部門	団体名	市町名	頁
介護予防	サロンまちなか・タナトレ	佐世保市	2
	志佐なごみ会	松浦市	2
見守り	三浦地区社会福祉協議会 給食ボランティア	大村市	3
地域の助け合い	北松こまらん隊	佐世保市	3
地域活性化	前谷こんぴら会	南島原市	4
	長与町老人クラブ青葉会	長与町	4

令和 7 年 1 月 2 4 日

高齢者地域貢献活動 知事表彰

1．表彰の趣旨

この表彰は、介護予防や日常生活における助け合いなど、地域貢献活動に積極的に取り組んでいる高齢者を中心とした団体を表彰することにより、高齢者の社会参加を促進し、活躍の場を広げ、もって本県の地域包括ケアシステムの深化・推進に資することを目的としています。

2．表彰の対象団体

表彰の対象団体は、地域の実情に合った介護予防・日常生活支援等の地域貢献活動を行っている65歳以上の高齢者を中心とした団体で、次の各号のいずれにも該当する団体です。

- (1) 3年以上継続して活動を実施している団体であること。
- (2) 年間を通して継続的に活動しており、かつ、今後も継続的な活動が見込まれる団体であること。
- (3) 65歳以上の高齢者の割合が、全構成員の5割以上を占める団体であること。
- (4) 過去に同一の活動内容で厚生労働大臣表彰、知事表彰を受けたことがない団体であること。
- (5) 宗教活動又は政治活動を目的とした団体ではないこと。
- (6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、予防措置を講じながら何らかの形で活動を継続している団体であること。

【介護予防 部門】

サロンまちなか・タナトレ（佐世保市）代表 田中 村男 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
2019年 11月	5年 2か月	144日	34人(32人)

【活動概要】

地域の人を元気にしたいとの思いから、自宅兼仕事場にスタジオを開設し、体操、脳トレ、コグニサイズ、レクレーションなどを行っている。

参加するだけではなく、参加者それぞれが主体的に活動できるよう、声掛けや体操指導を交代で行っており、その結果、新規立ち上げサロンにおいても指導を行うなど、団体の活動は、人材育成や地域サロンの活性化にも繋がっている。

R5からは、看護学生の地域実習を受け入れており、看護学生に学びの場を提供するとともに、参加者には若い世代との交流の場となっている。

【介護予防 部門】

志佐なごみ会（松浦市）代表 神岡 康一 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
2019年 7月	5年 6か月	160日	18人(18人)

【活動概要】

高齢者が気軽に交流できる場を作ろうと活動を開始。コーラス、百歳体操、健康麻雀、シニアピアノ教室などを行っている。健康麻雀やシニアピアノ教室などの新たな試みにより利用者は増加しており、令和5年度は延べ2,741人の方が利用した。

運営の中心となるサポーターも60代から80代の18人のボランティアが担い、日常生活における助言や、支援を要する利用者には関係機関への橋渡し役も担っている。

他地域での集いの場では、男性の参加者数が伸び悩む中、当該団体においては男性参加者も多い状況にある。

【見守り 部門】

三浦地区社会福祉協議会 給食ボランティア（大村市）

代表 斉藤 浩 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
1989年 3月	35年 10か月	20日	23人(18人)

【活動概要】

高齢者や障がい者の方々の健康増進を目的に毎月1回手作りのお弁当を配食している。また、年に1回各地区毎に、手作り弁当での会食会「ふれあい給食会」を開催。食事に加えて、健康観察や健康講座、軽体操等を実施している。

活動は、今年度で36年目を迎えるが、住民からの紹介や民生委員の声掛けによりサービス利用者は増えており、令和5年度は838食（月平均70食）の配食を行った。

配食の際は、体調や環境に変化がないか等の声掛けを欠かさず、利用者から困りごとを相談されることも多い。また、利用者との会話から地域の情報を収集し、必要と判断した方に配食の利用を促すなど、高齢者の孤立防止にも大きく寄与している。

【地域の助け合い 部門】

北松こまらん隊（佐世保市）

代表 真坂 共子 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
2017年 4月	7年 9か月	300日	11人(11人)

【活動概要】

代表者が透析患者の送迎支援の相談を受けたことをきっかけに、内容に賛同した7名で活動を開始。透析通院介助に関しては、患者100名に対し、アンケートを実施するなどし、活動に繋がった。

現在は、有償ボランティア活動として、通院介助、外出・買物・調理・洗濯・大掃除・草刈り・事務処理などの支援を行っており、令和5年度は、29名の方に対し、延べ2,124回の支援を行った。

義務ではないが、利用者の安全のため、「福祉有償運送運転者講習会」や「車いす介助の実務研修」を受講のうえ、活動を行っている。

【地域活性化 部門】

前谷こんぴら会（南島原市） 代表 野村 泰三 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 （うち65歳以上）
2013年 7月	11年 6か月	12日	8人（8人）

【活動概要】

前谷自治会が、介護予防教室を受講したことをきっかけに自主グループとして活動を開始。前谷公民館を活動場所として使用しようと、参加者で公民館の大掃除から行い、ガス、水道設置、障子・畳の張替、トイレ改修、エアコン設置など着々と居場所を完成させた。レクレーションや体操、脳トレの他、会の終わりには茶話会を設け、情報交換や困りごとを共有し、互いに相談・支え合いを行っている。地域の衰退していたお祭りも復活させ、市外から楽しみに来られる人もいる。

個別訪問の声掛けやPR活動、参加者の口コミによる周知もあり、当初4人だった参加者が29人まで増えた。

【地域活性化 部門】

長与町老人クラブ青葉会（長与町）代表 八田 賢一 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 （うち65歳以上）
1976年 9月	48年 4か月	18日	35人（35人）

【活動概要】

会員が参加したくなるような勉強会やレクレーション等を企画・実施し、楽しい交流の場を設けて、会員の健康維持や生きがいづくりに取り組んでいる。

老人クラブ内だけの活動にとどまらず、令和4年度からは、4月から9月までの間、土日も休むことなく地域においてラジオ体操を実施。

令和6年5月には、自治体等にも協力を依頼し「青葉台団地50周年記念写真展」を開催したりと、地域の活性化にも寄与する取組となっている。